

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは津久井高校72回目の入学生ですが、津久井高校が県立高校となる前の津久井郡立<sup>さんぎょう</sup>蚕業学校としてスタートしてから数えると118年の歴史がこの津久井高校にはあります。これまでに、1万7千有余人の卒業生がいます。この津久井の地で活躍している先輩方が、皆さんの身近にも大勢います。そんな、歴史の長い学校です。

津久井高校は

「基礎学力を身に付け活用できる」

「モラル・マナー・ルールを遵守できる」

「コミュニケーション力・行動力を発揮できる」

津高生を目指しています。この3つを一言でいえば、

「**していいことと、いけないことの区別がきちんとできて、しなければならぬことを、きちんとできること**」

ということです。

さて、今日は、皆さんの入学にあたって、2つのお話をしたいと思います。

一つ目は、「**そうありたいと願い続けられるもの**」を見つけて欲しいということです。

こんな自分になれたらいいな。こんな仕事に就けたらいいな。

いろいろなことにチャレンジして、たくさんの失敗も経験して、少しずつ「できること」を増やししながら、何か一つ「願い続けられるもの」を見つけてください。

なかなか見つかるものではありません。でも、それを見つけた時に、未来の扉は皆さん一人ひとり、それぞれに向かって開かれます。毎日を一所懸命に生きることで、未来の扉に近づいて欲しいと思います。

二つ目は、「出会い」。

「(私は津久井高校で)色々と学ぶことができ、初めて人を信じてみようと思いました。本当にこの学校が大好きでした。そしてこの先生たちはとても良い先生です。素敵な高校生活を送ることができました。」この春に卒業した卒業生の一人が、卒業式の日の朝に残していった言葉です。

この人は、津久井高校で多くの仲間と出会い、そして支え合ってきたのだと思います。

皆さんも、仲間と出会い、時には喧嘩もしながら、お互いに支え合う関係を築いて行って欲しいと思います。

そういう仲間との「出会い」を大切にしてください。

おしまい、

津久井高校の職員一同、今日お迎えした皆さんを含めて、「津久

井高校の生徒」、「津久井高校」が「大好き」です。

是非、皆さんもこの学校が「好き」と言えるようになって欲しいと願っています。

皆さんとともに学校をつくる、それが私も含めて津久井高校職員の「夢」です。

今日、皆さんの入学にあたって2つのお話をしましたが、心のどこかにしまっておいてください。

以上、校長の言葉といたします。